

報告書作成システム 2020 について

1. はじめに

報告書作成システム 2003 および 2015 はドライブ(C:¥)に直接ファイルを格納していましたが、イノベーション企画部の担当者の要望により、ファイルを「C:¥Users¥Name¥Documents」に移動することになりました。

これにより、各自 P C の「ドキュメント」に、リンク先を変更した以下の最新ファイル（フォルダー名「報告書作成システム 2020」）を保存してください。（「2. 保存方法」参照）

なお、「報告書作成システム 2020」対応版のデータファイルは「データファイル 2020」になります。

[報告書作成システム 2020]

（最新ファイル）

システム 2020
システム A2020
システム B2020
フォーム 2020
フォーム B2020
食い違いずれ補強方法 2020
図形集 2020
断面 SUB

8 個のファイルは 2020 専用のファイルです。必ず入れて下さい。

UT 装置管理
ロット構成部材入力画面
工事施工結果
工事名・F A B 名一覧表
合否判定表
食い違いずれ補強方法

6 個のファイルは「報告書作成システム 2015」と共有ファイルですが、「報告書作成システム 2020」のフォルダーに必ず保存して下さい。

データファイル 2020
検査結果仮報告(現場)2020
検査結果仮報告(工場)2020
鉄骨 U T 報告書様式 P1_2020
報告書作成依頼書 2020

5 個のファイルは「報告書作成システム 2020」用です。フォルダー内に保存する必要はありませんが、上記 14 個のファイルが「報告書作成システム 2020」のフォルダー内にないと作動しません。

（注意）

- ・今年度は C:¥報告書作成システム 2015¥と C:¥Users¥Name¥Documents¥報告書作成システム 2020¥を共有してください。（最新のデータファイルに変換した場合は C:¥報告書作成システム 2015¥は不要
- ・現在使用のデータファイル 2019 以前のものは、簡単な「変換ファイル」を作成しますので、対応版のデータファイルに変換してください。（後日配布します）
- ・Excel365 に対応したファイルになりますが、Windows アップデート後に、動作しなくなる場合があります。
- ・今年度末まで、最新のデータファイルに変換し、C:¥報告書作成システム 2015¥を削除してください。
- ・鉄筋継手報告書システムも格納場所を「ドキュメント」に移動します。（現在作成中）

2. 保存方法

①PCより図.1の【ドキュメント】を開く

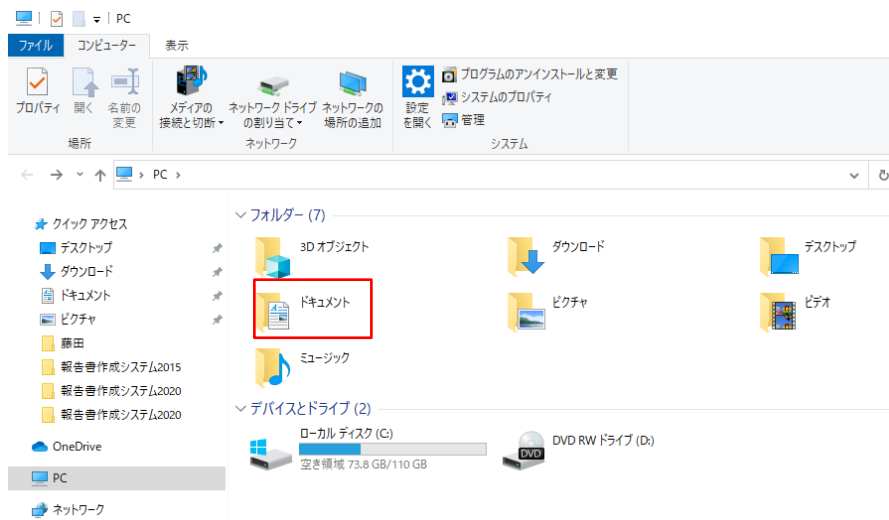


図.1 PC 画面

②図.2ドキュメントに最新ファイルを含む【報告書作成システム2020】を保存する。

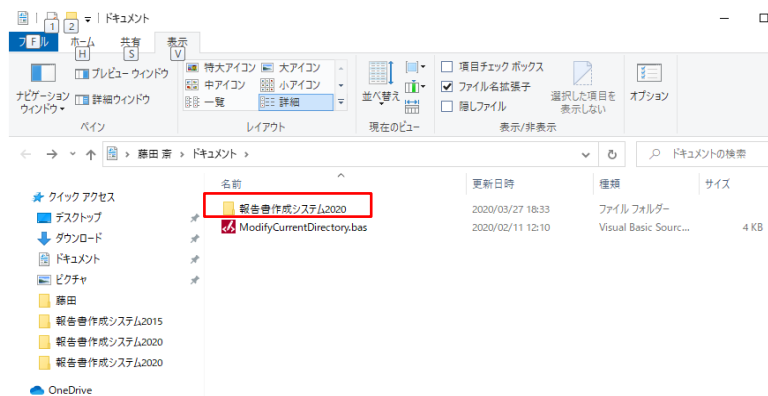


図.2 ドキュメント

③必要なファイルが【報告書作成システム2020】内にあるかどうか確認する。(図.3 参照)

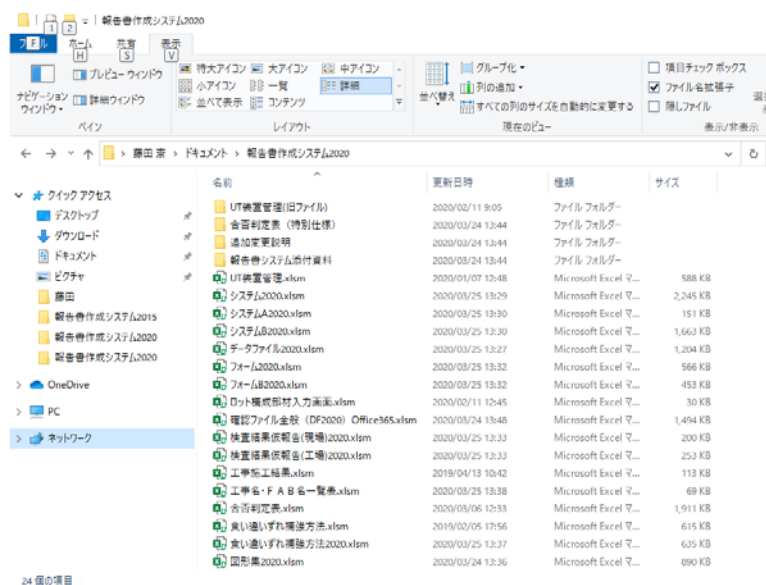


図.3 報告書作成システムのファイル